

草津市の産業振興に関する事業者アンケート調査 (実施概要)

1. 概要

「草津市産業振興計画」を策定する上での基礎資料とすることを目的として、市内事業者の現状や課題、ニーズを把握するためのアンケート調査を実施するものです。

2. 対象者

市内事業所：1,000者

3. 調査期間

令和3年6月下旬～令和3年7月中旬（予定）

4. 回答方法

郵送またはオンライン

5. 集計方法

単純集計、クロス集計、自由回答のとりまとめ（全体・業種単位）

6. アンケート調査項目について

資料3の「5. 本日の論点 — 論点2：検討すべき共通課題①～⑥」を踏まえて項目を設定しています。

※共通課題①（創業支援）に関する調査は、インキュベーション施設入居者や退去者などに対するヒアリング調査を通じて実施します。

項目1：事業所の状況について	→ 問1～9
項目2：新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経営状況について	→ 問10～12
項目3：事業承継について	→ 問13～18
項目4：事業所の人材確保・育成について	→ 問19～21-2
項目5：外部（企業・大学等）との連携について	→ 問22～23-2
項目6：草津市の立地環境について	→ 問24～25
項目7：カーボンニュートラルについて	→ 問26～26-1
項目8：経営課題について	→ 問27～28
項目9：行政からの支援について	→ 問29～31

(案)

草津市の産業振興に関する事業者アンケート調査

<調査への御協力のおお願い>

平素より、草津市政に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本市では現在、生産年齢人口の減少や新型コロナウイルスの感染拡大など、企業を取り巻く事業環境が大きく変化する中、市内産業の持続的発展に向けて、事業者ニーズを的確に把握し、産業全体の中長期的な振興施策の方向性を示す計画として「草津市産業振興計画」を策定しています。

この計画の策定にあたっては、事業者様が抱える課題や今後の展望等を踏まえた上で、より実効性の高いものにしたいと考えており、その基礎資料として、本アンケート調査を実施することと致しました。

御多忙のところ誠に恐縮でございますが、本市の未来を豊かにする産業力の強化に取り組んでいくための重要なアンケートとなりますので、御理解と御協力をぜひともお願い申し上げます。

令和3年●月

草津市 環境経済部 商工観光労政課

— 御記入に当たってのお願い —

1. 回答は、経営者御自身または経営全体が分かる御担当者が、御記入ください。
2. 回答は、用意している答えの中から、当てはまる番号や項目を選んで○をつけてください。
3. 回答は、令和3年●月●日現在でお答えください。
4. 回答いただきました内容については、全て統計的に処理しますので、個別企業名やその回答内容を公表することはありません。
ただし、この調査結果をもとに、より具体的な情報や御意見をおうかがいするため、後日御連絡をさせていただく場合があります。
5. 御記入いただきました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和3年●月●日（●）までに御投函ください。
6. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

— 調査に関するお問い合わせ —

草津市 環境経済部 商工観光労政課 担当：河原・河上
電話：077-561-2352（直通） FAX：077-561-2486
E-mail：shoro@city.kusatsu.lg.jp

はじめに貴事業所についておうかがいします。

問1 貴事業所の概要についてご記入ください。

屋号又は法人名				
本店所在地				
市内の主たる事業所の所在地				
代表者	役職		氏名	
ご記入者	所属・役職		氏名	
	電話		E-mail	
組織形態	1. 法人		2. 個人事業者	
資本金	1. 個人事業者		2. 500万円以下	
	3. 500万円超～1千万円以下		4. 1千万円超～3千万円以下	
	5. 3千万円超～5千万円以下		6. 5千万円超～1億円以下	
	7. 1億円超～3億円以下		8. 3億円超	
本市での営業(創業)年数	1. 5年未満	2. 5～9年	3. 10～19年	4. 20～29年
	5. 30～39年	6. 40～49年	7. 50年以上	
	※草津市内に貴社(貴店)が立地してからの年数をお答えください。			
代表者の年齢	1. 10～20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代
	5. 60歳代	6. 70歳代	7. 80歳代以上	
経営者の代	1. 創業者	2. 2代目	3. 3代目	4. 4代目以降
常時使用している従業員数(※市内全事業所での総数)	1. 0人	2. 1～5人	3. 6～10人	
	4. 11～20人	5. 21～50人	6. 51～100人	
	7. 101～300人	8. 301人以上		
	※常時使用している従業員とは、正社員の他、パートアルバイトを含みます。一方、経営者、役員、無給の家族従業員、派遣、下請従業者等は含みません。			
	(上記のうち男性		%、女性	%)
管理職数	全体： 人(うち男性 %、女性 %)			
従業員の平均年齢	1. 10～20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	
	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上	
主な業種(売上高の最も高い業種を1つお選びください)	1. 農業、林業、漁業		2. 建設業	3. 製造業
	4. 電気、ガス、熱供給、水道業		5. 情報通信業	6. 運輸業
	7. 卸売業		8. 小売業	9. 金融業、保険業
	10. 不動産業、物品賃貸業		11. 学術研究、専門・技術サービス業	
	12. 宿泊業		13. 飲食サービス業	
	14. 生活関連サービス業、娯楽業		15. 教育・学習支援業	
	16. 医療、福祉		17. その他サービス業	
	18. その他上記以外の分類			
事業内容、または主な製品・サービス	(具体的にご記入ください 例：〇〇の製造、□□の販売)			
主な取引先(複数回答可)	1. 草津市内	2. 滋賀県内	3. 大阪府	4. 京都府
	5. その他の近畿	6. 東海	7. その他の国内	8. 国外

問2 年間売上高について教えてください。

(1～4月決算の方は直近の決算、それ以外の方は今期の見込み)【○印は1つ】

1. 5百万円未満	6. 1億円～5億円未満
2. 5百万円～1千万円未満	7. 5億円～10億円未満
3. 1千万円～3千万円未満	8. 10億円～50億円未満
4. 3千万円～5千万円未満	9. 50億円～100億円未満
5. 5千万円～1億円未満	10. 100億円以上

問3 現在の貴事業所の経営状況について、該当するもの1つに○印を付けてください。

【○印は1つ】

1. 良い	2. 普通	3. 悪い
-------	-------	-------

問4 ①売上高、②経常利益額、③常用従業員数に関し、(1)直近3年間の実績、(2)今後3年間の見通しについて、それぞれに該当する番号をお答えください。

【①～③について(1)と(2)それぞれに該当する番号1つに○印】

	(1) 直近3年間の実績			→	(2) 今後3年間の見通し		
	1 増加傾向	2 横ばい	3 減少傾向		1 増加傾向	2 横ばい	3 減少傾向
①売上高	1	2	3	→	1	2	3
②経常利益額	1	2	3	→	1	2	3
③常用従業員数	1	2	3	→	1	2	3

※創業3年未満の場合は、足下の傾向でご判断ください。

問5 現在、事業所の移転、建替え、増設等の検討をしていますか。【○印は1つ】

1. 現在の場所や隣接地で建替え・増設を検討している	⇒問5-1へお進みください
2. 市内への移転を検討している	⇒問5-1へお進みください
3. 市外への移転を検討している (移転先：_____)	⇒問5-1へお進みください
4. 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止あるいは延期した	⇒問6へお進みください
5. 特に検討していない	⇒問6へお進みください

問5-1 問5で「1」～「3」を回答した方におたずねします。

それはいつ頃の予定ですか。【○印は1つ】

1. 5年以内の予定	2. 5～10年以内の予定	3. 時期は未定
------------	---------------	----------

問6 現在の海外との取引状況について教えてください。【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 輸入を行っている | 4. 海外企業と生産や販売に係わる業務委託契約
を行っている |
| 2. 輸出を行っている | |
| 3. 海外向けインターネット販売（越境EC）を
行っている | 5. 海外に自社の生産・営業拠点がある |
| | 6. 海外との取引は行っていない |

問7 貴事業所において活用しているIT関連ツールやサービスについてお答えください。
【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 電子メール | 11. クラウドサービス |
| 2. 財務・会計 | 12. クラウドファンディング |
| 3. 人事・労務 | 13. シェアリングエコノミー |
| 4. 販売 | 14. IoT |
| 5. ホームページ | 15. ビッグデータ |
| 6. SNS (Facebook、Twitter等) | 16. AI |
| 7. WEB会議 | 17. その他 |
| 8. インターネットバンキング | () |
| 9. キャッシュレス決済 | 18. 特に利用していない |
| 10. EDI (企業間の電子データ交換) | |

※EDI (企業間の電子データ交換)：企業取引でやりとりする様々な帳票関連や発注業務をインターネットや専用回線とよばれるクローズドな企業間のネットワークでやりとりを行うこと。

クラウドサービス：従来は利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアを、ネットワーク経由で、サービスとして利用者に提供するもの。

シェアリングエコノミー：場所・乗り物・モノ・人・お金などの遊休資産をインターネット上のプラットフォームを介して個人間で貸借や売買、交換することでシェアしていく新しい経済の動き。オンラインフードデリバリーサービスやカーシェアリング、民泊などが代表的なサービス。

問8 貴事業所の事業活動において、強み(差別化要素)はどこにありますか。
【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 技術力 | 9. ブランド力 |
| 2. 商品力(品質・デザイン) | 10. 儲けるしくみ(ビジネスモデル) |
| 3. 企画提案力 | 11. グループとしての総合力 |
| 4. 価格競争力(低価格) | 12. 経営者や事業部門長のリーダーシップ |
| 5. 販売力・営業力 | 13. その他 |
| 6. 短納期への対応や顧客対応の速さ | () |
| 7. 小口受注や多品種小ロットへの対応 | 14. 特にない |
| 8. アフターサービス | |

問9 貴事業所の目指す姿について、最も近いものを教えてください。【○印は1つ】

- | |
|-----------------------------|
| 1. グローバル展開をする企業 |
| 2. サプライチェーンでの中核ポジションを確保する企業 |
| 3. 地域資源の活用等により立地地域外でも活動する企業 |
| 4. 地域の生活・コミュニティを下支えする企業 |
| 5. その他 () |

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経営状況についておうかがいします。

問10 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は企業活動にマイナスの影響を及ぼしていますか。

【○印は1つ】

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 影響が継続している | ⇒問10-1へお進みください |
| 2. 影響が出たがすでに収束した | ⇒問10-1へお進みください |
| 3. 現時点で影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある | ⇒問10-1へお進みください |
| 4. 影響はないし、今後もない見込み（好転した場合も含む） | ⇒問11へお進みください |

問10-1 問10で「1」～「3」を回答した方におたずねします。

どのようなマイナスの影響がありましたか、又は今後見込まれていますか。

【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 製品・サービス等の受注・売上減少 | 5. イベント・催しや商談の中止・延期による企業活動の停滞 |
| 2. 自社の生産拠点・仕入れ先の変更による調達コスト増 | 6. 従業員の休暇取得に伴う人手不足による企業活動の停滞 |
| 3. サプライチェーン寸断による製品等の納期遅れ | 7. 従業員や顧客の感染予防策等に伴うコスト増 |
| 4. 消費マインドの悪化や予約キャンセル、ステイホームに伴う客数減少 | 8. その他 () |

問11 2019年以前の通常時の売上を100としたとき、昨年度の売上はどの程度かを教えてください。【○印は1つ】

- | | | |
|------------|------------|--------------|
| 1. 10未満 | 5. 40～50未満 | 9. 80～90未満 |
| 2. 10～20未満 | 6. 50～60未満 | 10. 90～100未満 |
| 3. 20～30未満 | 7. 60～70未満 | 11. 100以上 |
| 4. 30～40未満 | 8. 70～80未満 | |

問12 新型コロナウイルス感染症拡大により、貴事業所が行った対策や対応を教えてください。

【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1. 金融機関等の融資制度の活用 | 11. 事業所の臨時休業 |
| 2. 雇用調整助成金等の活用による雇用対策 | 12. 3密を避ける設備の設置（衛生設備・用品の設置） |
| 3. 行政機関の緊急経済対策や各種支援制度の活用 | 13. 営業・販売形態（テイクアウトやネット通販の対応等）の見直し |
| 4. テレワーク等の在宅勤務の活用 | 14. 新製品・サービスの開発 |
| 5. 不要不急の会議や出張の自粛、イベントの中止 | 15. 生産（活動）拠点の移転・多元化 |
| 6. 従業員の休暇取得推奨 | 16. サプライチェーン寸断による調達先の多元化 |
| 7. 従業員の人員削減 | 17. その他 |
| 8. 従業員の在籍型出向 | 18. 特になし |
| 9. 従業員の採用計画の変更 | |
| 10. 就業時間の短縮や時間差出勤 | () |

事業承継についておうかがいします。

問13 事業承継の予定について、あてはまるものに○を1つ付けてください。【○印は1つ】

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 既に後継者を決めている | ⇒問14へお進みください |
| 2. 後継者が決まっていないが、後継者候補はある | ⇒問15へお進みください |
| 3. 後継者を決めていないが事業継続したい | ⇒問15へお進みください |
| 4. M&A等で会社を譲渡する予定 | ⇒問15へお進みください |
| 5. 自分の代で廃業する予定 | ⇒問17へお進みください |
| 6. その他 | ⇒問19(次ページ)へお進みください |

問14 問13で「1. 既に後継者を決めている」を回答した方におたずねします。
後継者(候補)はどのような方ですか。【○印は1つ】

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 子などの親族 | 3. 社外からの登用 |
| 2. 親族以外の役員・従業員 | 4. その他() |

問15 現在の事業承継の取組状況についてお答えください。【○印は1つ】

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 具体的に取り組んでいる | 4. 事業承継に向けた取り組み方がわからない |
| 2. 少し取り組んでいる | 5. その他 |
| 3. まだ何も取り組んでいない | () |

問16 事業承継を検討するうえでの課題について、該当するものをお選びください。
【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 後継者の探索・確保 | 8. 承継前後の事業計画 |
| 2. 後継者への株式譲渡 | 9. 取引先との関係維持 |
| 3. 自社株の評価額 | 10. 社内体制の見直し |
| 4. 分散した株式の集約 | 11. 古参従業員の処遇 |
| 5. 親族間の相続問題の調整 | 12. その他 |
| 6. 借入金・債務保証の引継ぎ | () |
| 7. 後継者の育成 | 13. 特になし |

⇒問19(次ページ)へお進みください

問17 問13で「5. 自分の代で廃業する予定」を回答した方におたずねします。
廃業を検討している理由として、最もあてはまるものに○を1つ付けて下さい。【○印は1つ】

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 適当な後継者がいない | 5. 地域に需要・発展性がない |
| 2. 後継者候補に継ぐ意思がない | 6. 従業員の確保が難しい |
| 3. 事業に将来性がない | 7. そもそも誰かに継いでもらいたいと思っていない |
| 4. コロナによる業績悪化 | 8. その他() |

問18 問13で「5. 自分の代で廃業する予定」を回答した方におたずねします。
廃業の時期はおおよそいつですか。【○印は1つ】

- | | | |
|------------|------------|-------------------|
| 1. 1年以内 | 3. 3年超5年以内 | 5. まだ明確な時期は考えていない |
| 2. 1年超3年以内 | 4. 5年超 | |

貴事業所の人材確保・育成についておうかがいします。

問 19 貴事業所における人材確保の状況について教えてください。【○印は1つ】

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 確保できている | ⇒問 19-1 へお進みください |
| 2. 確保する必要があるが、確保できていない | ⇒問 19-2 へお進みください |
| 3. 確保する必要がない | ⇒問 20 へお進みください |

問 19-1 問 19 で「1. 確保できている」を回答した方におたずねします。貴事業所が人材確保にあたって利用している手段はどれですか。【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. ハローワーク | 7. 就職情報誌や新聞等の求人広告 |
| 2. 教育機関（大学、高校等）の紹介 | 8. 自社のホームページでの告知 |
| 3. 合同就職面接会 | 9. 知人・友人（親族含む）の紹介 |
| 4. 就職ポータルサイト（リクナビ・マイナビ等） | 10. 取引先・銀行等の紹介 |
| 5. 人材紹介会社からの紹介 | 11. その他 |
| 6. インターンシップの受入 | () |
| | 12. 近年募集実績がない |

⇒問 20 へお進みください

問 19-2 問 19 で「2. 確保する必要があるが、確保できていない」を回答した方におたずねします。人材確保ができていない理由は何ですか。【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 採用活動に時間をかけられない | 5. 経営の見通しから採用に踏み切れない |
| 2. 時間をかけても必要な人材が採用できない | 6. 採用活動の方法がわからない |
| 3. 採用活動に費用をかけられない | 7. 募集条件を満たす人材の応募がない |
| 4. 採用しても離職してしまう | 8. その他 |
| | () |

問 20 貴事業所では就業者の人材育成・能力開発ができていますか。【○印は1つ】

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1. できている | ⇒問 21 へお進みください |
| 2. 取り組んでいるが、できていない | ⇒問 20-1 へお進みください |
| 3. 取組の必要性を感じているが、できていない | ⇒問 20-1 へお進みください |
| 4. 必要性を感じない | ⇒問 21 へお進みください |
| 5. 人材育成・能力開発が必要な就業者はいない | ⇒問 21 へお進みください |

問 20-1 問 20 で「2」「3」を回答した方におたずねします。

人材育成・能力開発ができていない理由は何ですか。【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 時間の余裕がない | 5. 適切な教育機関がない |
| 2. 予算がない | 6. 人材育成のノウハウ・人材がない |
| 3. 育成しても離職してしまう | 7. 従業員が希望しない |
| 4. 外部機関の研修の情報がない | 8. その他 |
| | () |

問21 現在、外国人を雇用していますか。【○印は1つ】

※「1」を選んだ方は□□内に数字で記入してください。

1. 現在雇用している (⇒現在雇用している外国人は □□ 人)	⇒問21-1へお進みください
2. 現在は雇用していないが、雇用したことがある	⇒問21-1へお進みください
3. 雇用したことはない	⇒問21-2へお進みください

問21-1 問21で「1」「2」を回答した方におたずねします。

外国人の雇用するにあたり貴事業所で考える課題はありますか。【○は3つまで】

1. コミュニケーションがとりづらい(言語等)	8. 受入れに係る金銭的成本がかかる
2. 生活習慣・文化の違い	9. 任せられる業務が少ない
3. 出入国関連の手続きが煩雑	10. 仕事の技能・知識を十分に身につけてもらえない
4. 在留期間が制限されている(長い期間、働いてもらえない等)	11. 監理団体からの指導が不十分
5. すぐに離職する	12. 地域社会(住民)からの理解が得られない
6. 採用後の研修・教育(日本語教育等)に手間がかかる	13. その他()
7. 生活支援に手間がかかる(住居の確保等)	14. 特になし

⇒問22へお進みください

問21-2 問21で「3. 雇用したことはない」を回答した方におたずねします。

今後の外国人の採用方針について最もあてはまるものに○を1つ付けて下さい。

【○印は1つ】

1. 雇用する計画がある	4. 雇用するつもりはない
2. 雇用してみたい	5. わからない
3. 希望する要件に合致する人材であれば雇用したい	

項目5

外部との連携についておうかがいします。

問22 現在、貴事業所では、企業など事業者間で連携を実施していますか。【○印は1つ】

1. 実施している(実施したことがある)	⇒問22-1へお進みください
2. 実施したことはないが、今後予定がある	⇒問22-1へお進みください
3. 関心があるが、実施できていない	⇒問22-2へお進みください
4. 関心がなく、実施していない	⇒問23へお進みください

問 22-1 問 22 で「1」「2」を回答した方におたずねします。その企業間連携の取組内容としてあてはまる番号をお答えください。【該当する番号すべてに○印】

1. 共同研究・開発	7. 共同配送・保管
2. 共同受注・生産・販売	8. 交流会・ネットワーキング
3. 共同販売	9. 勉強会・研究会
4. 共同仕入・購買	10. 従業員の研修・育成
5. 共同PR・ブランド	11. 在籍型出向
6. 施設・設備の共同利用	12. その他 ()

⇒問 23 へお進みください

問 22-2 問 22 で「3」を回答した方におたずねします。他の企業など事業者と連携していない理由は何ですか。【該当する番号すべてに○印】

1. 連携先の探し方が分からない	6. 社内に対応できる人材が少ない
2. 連携の主導・調整役が少ない	7. 自社の情報や技術・ノウハウ流出の懸念がある
3. 連携活動の資金の確保が難しい	8. その他 ()
4. 連携先との契約の事前交渉が難しい	9. 特になし
5. 取組の効果が分からない	

問 23 現在、貴事業所では、産学連携を実施していますか。【○印は1つ】

1. 実施している（実施したことがある）	⇒問 23-1 へお進みください
2. 実施したことはないが、今後予定がある	⇒問 23-1 へお進みください
3. 関心があるが、実施できていない	⇒問 23-2 へお進みください
4. 関心がなく、実施していない	⇒問 24 へお進みください

※産学連携：大学や研究機関（学）の持つ研究成果や技術、ノウハウを、民間企業（産）が活用し、実用化や産業化へ結びつける取組のこと。企業と大学の間を行政が結びつけ、行政の（官）を加えて、「産学官連携」ともいう。

問 23-1 問 23 で「1」「2」を回答した方におたずねします。
今後、産学連携を実施したい分野は何ですか。【該当する番号すべてに○印】

1. 環境関連（新素材、リサイクル等）	6. 教育関連
2. 農業関連	7. バイオ・食品関連
3. 再生可能エネルギー	8. 医療・福祉・健康づくり
4. ロボット、AI（人工知能）	9. その他
5. ICT（情報通信技術）関連	()

⇒問 24 へお進みください

問 23-2 問 23 で「3」を回答した方におたずねします。
産学連携していない理由は何ですか。【該当する番号すべてに○印】

1. 連携先の探し方が分からない	6. 社内に対応できる人材が少ない
2. 連携の主導・調整役が少ない	7. 自社の情報や技術・ノウハウ流出の懸念がある
3. 連携活動の資金の確保が難しい	8. その他
4. 連携先との契約の事前交渉が難しい	()
5. 取組の効果が分からない	9. 特になし

草津市の立地環境についておうかがいします。

問24 草津市に立地することのメリットについて教えてください。【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 交通の便が良く地理的にも便利 | 1 1. 大学等の学術機関と連携がしやすい |
| 2. 人材が確保しやすい | 1 2. ビジネスサポート企業が多い |
| 3. 従業員の自宅が近い | 1 3. 資金調達に有利 |
| 4. 取引先から近い | 1 4. 行政からの支援が充実している |
| 5. 企業や人口密集など市場が近い | 1 5. 今後も都市の発展が期待される |
| 6. 草津市立地による企業のブランディング | 1 6. 街が整備されていて住みやすい |
| 7. 他事業所に活力がある | 1 7. 自然災害が少ない |
| 8. 産業に多様性がある | 1 8. その他 |
| 9. 先端的な技術や情報に接する機会が多い | () |
| 1 0. 事業所集積により企業間の連携がしやすい | 1 9. 特にない |

問25 草津市に立地することのデメリットについて教えてください。【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 交通の便が悪く事業に支障がでる | 1 1. 大学等の学術機関と連携がしづらい |
| 2. 人材が確保しにくい | 1 2. ビジネスサポート企業が少ない |
| 3. 通勤時間が長くコストが高い | 1 3. 地元金融機関からの資金調達が難しい |
| 4. 顧客・取引先から遠い | 1 4. 行政からの支援が不足している |
| 5. 施設等の賃貸借の費用が高い | 1 5. 都市の将来発展が期待できない |
| 6. 地域住民との接点が少なく地縁性が低い | 1 6. 街が整備されておらず住みにくい |
| 7. 競争相手が多く競争が激しい | 1 7. 新たに立地できる場所がない |
| 8. 産業に多様性がない | 1 8. 自然災害が多い |
| 9. 重要な情報が入手しにくい | 1 9. その他 |
| 1 0. 企業間の連携がしづらい | () |
| | 2 0. 特にない |

カーボンニュートラルについておうかがいします。

問 26 国では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとする「カーボンニュートラル」、いわゆる脱炭素社会の実現を目指すことが表明されました。
 今後、カーボンニュートラルを貴事業所で取り組む予定はありますか。【○印は1つ】

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 以前から取り組んでいる（内容： | ）⇒問 26-1 へお進みください |
| 2. 取組を予定している（内容： | ）⇒問 26-1 へお進みください |
| 3. 取り組んでいないし、取り組む予定もない | ⇒問 27 へお進みください |

問 26-1 問 26 で「1」「2」を回答した方におたずねします。
 カーボンニュートラルに取り組むにあたっての課題は何ですか。
 【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1. 目標の設定が難しい | 9. 国内外の政策・制度がわかりづらい |
| 2. アクションプランの策定が難しい | 10. 指導してくれる専門家がいらない |
| 3. 活動状況や進捗状況についての報告が難しい | 11. 従業員一人ひとりの意識づけが難しい |
| 4. 効果の把握（影響の可視化）が難しい | 12. 社内に任せられる人材がいらない |
| 5. 共同研究やプランの実施など他団体と連携したいが方法がわからない | 13. 身近な部分でしか貢献できない |
| 6. 電力等のインフラが整っていない | 14. そもそも何をしたらよいかわからない |
| 7. 取り組むためのコスト負担が大きい（ | ） |
| 8. 売り上げの確保などが優先され、取り組む余裕が無い | 15. その他 |
| | 16. 特になし |

貴事業所の経営課題についておうかがいします。

問 27 今後、特に重点的に取り組みたい経営課題は何ですか。【該当する番号すべてに○印】

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 資金調達・資金繰り改善 | 13. 環境対策 |
| 2. 雇用の維持 | 14. 設備投資（生産拡大・省力化・生産性向上等） |
| 3. 余剰人員の退職勧奨・配置転換 | 15. IT化推進（販路・売上拡大・業務効率化等） |
| 4. 人材の確保（人手不足）・育成 | 16. 技術力向上・研究開発の強化 |
| 5. 時間外労働削減、テレワークなどへの対応 | ⇒問 27-1 にお進みください |
| 6. 新たな生活様式（3密・接触回避など）への対応 | 17. 後継者の確保・育成、事業承継 |
| 7. 従来の取引関係の維持・継続 | 18. 既製品（商品）・サービスの改善・改良 |
| 8. 新規顧客の掘り起こし | 19. 新製品（商品）・サービスの開発 |
| 9. 既存事業の販路・市場拡大 | 20. 人件費等コストアップ対策 |
| 10. 代替調達・生産先の確保 | 21. 不採算事業の立て直し・撤退 |
| 11. 新分野進出・新しい収益源の確立（ | ） |
| ⇒問 27-1 にお進みください | 22. その他 |
| 12. 海外進出・市場開拓 | 23. 特になし |

問 27-1 問 27 で「11. 新分野進出・新しい収益源の確立」「16. 技術力向上・研究開発の強化」を回答した方におたずねします。

どのような分野ですか。【該当する番号すべてに○印】

1. 環境関連（新素材、リサイクル等）	6. 教育関連
2. 農業関連	7. バイオ・食品関連
3. 再生可能エネルギー	8. 医療・福祉・健康づくり
4. ロボット、AI(人工知能)	9. その他
5. ICT（情報通信技術）関連	（ ）

■具体的な製品・技術・顧客サービス等がありましたら、ご記入（ご紹介）ください。

問 28 貴事業所では、経営上の課題・問題が発生した場合、どこに相談しますか。

【該当する番号すべてに○印】

1. 商工会議所	7. 公認会計士・税理士等
2. 親会社や取引先	8. 国・県・市などの相談窓口
3. 地域の事業者仲間	9. その他
4. 大学や研究機関	（ ）
5. 金融機関	10. 相談しない
6. 経営コンサルタント	

項目 9

行政からの支援についておうかがいします。

問 29 今後、本市からの情報（経済対策等による支援制度など）について、案内（メール）を希望しますか。【○印は1つ】

1. 希望する	⇒（案内先：E-mail: _____ @ _____）
2. 希望しない	

問 30 今後、行政から期待する支援について教えてください。

【該当する番号すべてに○印】

1. 資金調達支援	8. 多様な働き方に関する支援（テレワーク導入支援等）
2. 人材採用・育成（合同就職説明会等）	
3. 新商品・サービス・技術開発支援	9. 事業承継の支援
4. 販路拡大（他企業とのマッチング、見本市出展、D2C※プラットフォーム等）支援	10. 企業間・異業種間の連携促進
5. 市内での創業・起業支援（新分野への進出・第二創業支援含む）	11. 企業間の在籍型出向支援
6. 先端技術（ICT・AI・ビッグデータ等）の活用支援	12. 産学官連携の促進（大学とのマッチング）
7. キャッシュレス化の支援	13. 企業間の交流機会の創出
	14. 顧客データの収集・分析に関する支援
	15. 土地利用規制の見直し
	16. その他（ ）

※D2C (Direct to Consumer)：自ら企画、生産した商品を直接消費者と取引を行うビジネスモデル

問31 今後、支援機関（商工会議所等）から期待する支援について教えてください。

【該当する番号すべてに○印】

1. 資金調達支援	8. 多様な働き方に関する支援（テレワーク導入支援等）
2. 人材採用・育成（合同就職説明会等）	9. 事業承継の支援
3. 新商品・サービス・技術開発支援	10. 企業間・異業種間の連携促進
4. 販路拡大（他企業とのマッチング、見本市出展、D2C※プラットフォーム等）支援	11. 企業間の在籍型出向支援
5. 市内での創業・起業支援（新分野への進出・第二創業支援含む）	12. 産学官連携の促進（大学とのマッチング）
6. 先端技術（ICT・AI・ビッグデータ等）の活用支援	13. 企業間の交流機会の創出
7. キャッシュレス化の支援	14. 顧客データの収集・分析に関する支援
	15. 土地利用規制の見直し
	16. その他（ ）

※D2C (Direct to Consumer)：自ら企画、生産した商品を直接消費者と取引を行うビジネスモデル

最後に

問32 本アンケートを踏まえて、一部の企業様につきましては直接ご訪問、もしくはインターネット（ZOOM、SKYPE等）を使用したヒアリング調査を行うことを想定しております。ヒアリング調査に御協力を頂けますでしょうか。

なお、調査等で得られた情報につきましても貴事業所名、面接者氏名等は一切公表いたしません。本協力について、下記のいずれかに○印をお付けください。【○印は1つ】

1. 協力できる

2. 協力できるかもしれない

3. 協力できない

→ 具体的な条件等がございましたらご記入ください。

※ご訪問もしくはインターネットを使用したヒアリング調査を行う際は改めてご連絡させていただきます。

その他、本市の産業振興に関してご意見がございましたらご記入ください。

ご多忙のところ御協力いただきましてありがとうございました。

※この調査票は同封の返信用封筒に入れて、●月●日（●）までに、切手を貼らずにポストに投函していただきますよう、お願い申し上げます。